

# ③ 部落差別はする人がいるから、存在する！

そうね。差別って理不尽よね。下の図を見て。  
 大分市では、人権に関する8つの重要課題を位置付けて、差別の解消に向けた取組を進めているのよ。どの課題にも共通していることは、生まれ、性別、年齢など本人に責任のないことによって被害を受け、苦しんでいる人がいるということなの。



### 部落差別とは

明治時代になって、江戸時代の身分制度が廃止されました。しかし、それ以降も生まれた場所や住んでいる場所などの理由にした差別が現在も続いています。これを部落差別といいます。

「生まれ」による差別って理不尽だよ。



**部落差別同和問題**

様々な人権問題

女性

子ども

高齢者

障がい者

外国人

HIV感染者・ハンセン病回復者等

**大分市人権教育・啓発基本計画 (改定版)**

策定 2004(平成16)年12月  
 改定 2017(平成29)年4月

大分市では、「市民一人ひとりが互いに人権を尊重し合い、共に喜びを実感できる地域社会の実現」をめざして大分市人権教育・啓発基本計画を策定し、差別をなくす取組を推進しています。

なるほど！「本人に責任のないこと」かあ。これは差別に気づくための大切なひとつの「ものさし」だね。そして、差別の解消に向けては、性別や年齢、障がいなどの違いを認め合うことも大切ってことだよな。あれっ。でも、部落差別って生まれた場所や住んでいる場所が理由で起こるんだよ…？どつやって、差別される人、つまり被差別部落出身者ってわかるのかな？



そつ、そして差別をする理由のあいまいさをもっとわかる調査があるから、もう少し詳しく見てみましょう。



**差別する人が、差別される人をつくりだしているってこと!!**

差別する人が、興味本位や深く考えずに、あるいは悪意を持って調べて探したり、他人に広めたりしなければわからないはずよね。性別や年齢、障がいがあるかないかなどの違いは、全てではないにしてもある程度わかるけれど…。つまり、部落差別は差別する人がいるから、存在しているということよ。

